

目 次

提言の要旨	1
はじめに	2
第1章 現状	2
1 職場におけるコミュニケーションの重要性・意義	2
2 職場環境の現状	3
3 職場におけるコミュニケーションの状況	5
第2章 問題点と課題	6
1 問題点の抽出	6
2 課題	7
第3章 対策事例	8
1 自治体の事例	8
2 民間企業の実例	9
第4章 施策提言	10
提言1 庁内報・メルマガの発行	
提言2 庁内限定フェイスブックの開設	
提言3 双方向朝礼の実施	
提言4 喫茶コーナーの設置	
提言5 コミットグループ制の導入	
提言6 メンター制の導入	
提言7 マネチェン制の導入	
提言8 プラスの言葉を使う運動	
提言9 庁内留学制度	
提言10 プチ飲みニケーション	
おわりに	13

提言の要旨

多様なコミュニケーションで職場を元気に

～ みんなで参加するコミュニケーションの輪 ～

現 状

- 職員数の減少、IT化の進展、女性の就業率の向上、臨時職員・非常勤職員の増加など、職場環境が変化している。
- 職場のコミュニケーションの状況として、「職場のコミュニケーション不足」を感じている職員が多い。
- 電子メールやインターネットに頼りすぎて、生のコミュニケーションが希薄化している。

問 題 点 と 課 題

- 職場のコミュニケーションは、機能不全に陥っている。
- 職場環境の変化に、職場のコミュニケーションの変化が追いついていない。
- 時間的・経済的問題のため、飲みニケーションに参加するのが難しい職員もいる。これらの職員は、従来の飲みニケーション中心のコミュニケーションでは、職場のコミュニケーションの輪から漏れがちである。
- 風通しの悪い非効率な職場となっている。



提 言

飲みニケーションから多みニケーションへ

多様なコミュニケーションの機会と手段を用意し、職員一人ひとりが、それぞれの状況に応じて参加可能な多様な形のコミュニケーション環境を整える。



施 策

- | | | | | |
|------------------|---------------------|------------------|----------------|-------------------|
| 1
庁内報・メルマガの発行 | 2
庁内限定フェイスブックの開設 | 3
双方向朝礼の実施 | 4
喫茶コーナーの設置 | 5
コミットグループ制の導入 |
| 6
メンター制の導入 | 7
マネチェン制の導入 | 8
プラスの言葉を使う運動 | 9
庁内留学制度の導入 | 10
プチ飲みニケーション |

風通しのよい職場